

フォスターシティ市の意向について

1 稲城市との姉妹都市提携について

稲城市との姉妹都市提携に関するフォスターシティ市の現在（平成 28 年 8 月現在）の意向の確認をした結果、「稲城市が引き続き姉妹都市提携を希望するならば、喜んで前に進めたい。」との回答をいただいた。

2 姉妹都市提携のキーパーソンについて

日系の元フォスターシティ市市議会議員であるスティーブ岡本氏（市議会議員は平成 27 年 11 月に任期満了）が、稲城市との姉妹都市提携についてのキーパーソン。

（仮称）姉妹都市協会の立ち上げについても、現在は中断している状況だが、中心的な役割を担っている。

3 希望する主な交流事業について

※平成 27 年 8 月に視察した際に伺った話

交流事業	内容等
青少年のスポーツ交流 （野球・サッカー）	<p>「ホームステイ先も十分にあるので、まずは、稲城の子どもたちに来てもらい、スポーツ交流、特に野球やサッカーで交流がしたい」とのこと。</p> <p>【その他情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォスターシティ市は青少年のスポーツの部分に非常に力を入れている。 ・男の子は野球をやり、女の子はサッカーをやっている。 ・稲城市は野球のジャイアンツもあり、サッカーのヴェルディあり、日テレベレーザありという中では、その部分の交流もできるのではないか。
学校交流	<p>「フォスターシティ市には小学校 3 つ、中学校が 1 つあるので、学校交流ができるのではないか」とのこと。</p> <p>【その他情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校には、日本人の子供が 10 人程度いて、中学校は 1 校になるため、もっと日本人の子は多い。 ・交流をするのであれば、日本人が間に入るよりは、しっかりネイティブな子と日本人の子たちが交流するのが良い。

